

105 『ル・フォレ』 1847年から1867年まで 英語版

Le follet journal du grand monde, fashion, polite literature, beaux arts etc. 1847—1867.
(title varies) Paris. 21 vols. 28.4×20.0cm <383. 135-F>
Hiler p. 319 Colas 1083 Lipp. 4611—12

follet は元来、「いたずらっばい」「いたずら好きの妖精」などの意であり、最初のフランス語版は *courrier des salons* の副題の下に1829年にパリで刊行され、1899年まで70年間も続いた。このように本誌はモード雑誌のうちでは最も寿命の長いものの一つであると同時に最も優れたものの一つに数えられている。そしてこのことは1846年から1853年までの、同名の英語版が同じくパリから発行されているし、Der Follet というドイツ語版が1848年から1871年まで、ドイツのアーヘンで、また Il Folletto というイタリア語版が、1851年及び1852年に発行されていることでも分る。月刊誌である。

主題にみるとおり本館所蔵のものは英語版であるが、モードの記事はフランス語版からの英訳であり、銅版手彩色プレートも、フランス語版のをそのまま流用している。これらの原画は1844年以來一貫してアナイス・トゥードゥーズ (Anaïs Toudouze 1822—1899) と妹のロール・コラン (Laure Colin 1827—1878) が当っているので、気品ある様式的な統一がみられる点でも、他誌を圧倒している。トゥードゥーズは、とりわけ観劇服や夜会服の場景の描出に優れ、本誌でも高潮期のプレートは、ほとんど彼女の作品で占められている。彼女は画家で石版画家のアレクサンドル＝マリー・コラン (Alexandre-Marie Colin 1798—1875) の娘で、有名なモード画家三姉妹のうちの次女であり、最も長く、しかも、少なくとも20誌にわたって仕事をした。中でも一番力を注いだのはこの『フォレ』であり、次いで『ル・マガザン・デ・ドゥモワゼル』誌 <382. 35-M> 及び『ラ・モード・イリュストレ』誌 (106) である。

本文の最初はモード紹介、続いてプレートの解説、次には連載ものの小説と幾人かの随筆や詩などに当てられている。(石山)